

たかね まちづくり通信

互いに支え合って固有の自然や歴史文化を守り暮らしやすい地域環境をつくる

まちづくり交流広場(朝日みどり小学校中庭)

まちづくり交流広場in朝日みどり小学校

餅つきパート・2

地域振興部長 黒田 鈴木 重彦

五月以来計画して来た餅つきを十月十八日(土)朝日みどり小学校、中庭で作品展に合わせて実施しました。メンバーは、たかねまちづくり協議会(地域振興部、健康福祉部)、各集落ポランティア(岩沢、黒田、朝日中野、関口、薦川の皆さん)総勢四十一名でした。

雑煮は岩沢、黒田、朝日中野チームが具材のきざみから全て担当し、杵と臼でついた餅を干切つて皆さんに振舞いました。枳餅は、薦川チームが担当で出来立てを会場まで運んでアノコを付けて振舞いました。

やまもちは、関口チームでした。五年生が育てたコシヒカリ、八kgを譲り受け、関口会館で作つてから会場に運んで振る舞い、関口ならではの味を披露してくれました。計画では五年生と一緒を作る予定でしたが時間が取れないと言つて出来ませんでした。

雑煮は、三チームで二回ずつ杵と臼で子供達と一緒に餅つきをしました。昨年もやった経験からか上級生は大分上手についていた様です。下級生も一生懸命でした。各チーム共、地域の味を出していた様です。

お替りをする子供達の笑顔がとても印象的でした。ポランティアの方々も満足そうに見ていました。

限られた時間でしたが有意義な時を過ごせたと思います。最後になりましたが、御協力頂きましたポランティアの皆様方、大変ご苦労様でした。心から感謝申し上げます。



おいしいおもち

ごちそうさま!

朝日みどり小学校 三年 板垣 愛梨

わたしの、一番おいしかったもちがあります。それは、とちもちです。わたしは、あんこがすきなので、とちもちが、とてもおいしかったです。わたしは、とちもちを二つ食べました。

次に、わたしは、ぞうにを食べました。わたしは、つゆしかのみませんでした。わたしは、とても喜んでました。友だちといっしょに、もちつきを見に行きました。男の子が、もちを強くついていたので、すごいと思いました。

もちは、二つしかたべられませんでした。おいしいだったのでよかったです。



★ボランティアの声 枳餅作りました

薦川 板垣 美春

私達の集落には小学生が1人もいない中、ボランティア4人で枳餅を作りました。

先輩のお母さん方が一生懸命頑張ってくれました。

私達が学校に合流した時には枳餅が全部なくなり、私達の口には入りませんでした。残念!!でもおいしく食べていただきとてもうれしく思います。関口の方々を作ってくれた山もちもとてもおいしくいただきました。

これから先も続くことを願っています。

スイセン球根植え

環境安全部員 黒田 板垣 忠司

高根地域の玄関口である岩沢地内を、スイセンの花でいっぱいにする目的で進められているスイセンロードの草刈りを十月四日に行いました。歩道まで伸びた雑草を取り除くと歩道が広く感じられる様になり、子供達も通りやすくなりました。



また十月十九日は中原の老人会の人達と一緒に土床作りを行いました。土が硬くてスコップと鍬を片手に持った作業は大変でした。作業をしながら「もっと若いPTAの人達も参加してもらえたらたすかるのに」

という言葉が聞こえてきました。十月二十六日のスイセン球根植えには、中原集落の小学生とPTAの方々と一緒に行いました。球根は拳一つくらいの間隔に植え、土をかけて土が流されない様に軽く踏みかためる作業をして球根植えを終えました。来年の春には綺麗な黄色いスイセンロードになってもらいたいです。中原の皆さん、大変有難うございました。



参加者の声

球根植え作業に参加して

朝日みどり小5年 鈴木 涼介

十月二十六日、ぼくは、たかねまちづくりの人達と球根植えをしました。ゆう便局前から共同土建の前まで千個ぐらい植えました。

にぎりこぶし一つ分ずつあけて、ていねいに植えました。土をかけるのが大変だったけど、みんなで一生けん命植えたので、春になってきれいな花がさくのが楽しみです。そして、その道路を通る人達みんなに喜んで見てもらいたいと思います。

球根植えに参加して

中原 鈴木 真実

十月二十六日に行われたスイセンの球根植え活動に、子供と一緒に参加しました。

植え床は事前にきれいに準備していただき、球根を並べ、土をよせるといふ作業でしたが、植えている最中に、大きなミミズが何匹も出てきたりして、子供と一緒に土いじりを楽しめました。天候にも恵まれ、沢山あった球根も皆さん手慣れていてあつという間に植えることができました。いつも通る道に、来春きれいな花が咲き揃うのが楽しみです！と子供と話しています。

10月26日朝日みどり小学校

花壇整備を行いました！

一年間ありがとう 環境安全部員 北大平 鈴木 洋一

環境安全部では十月二十六日早朝、花いっぱいやすらぎ事業で県道沿い、朝日郵便局前から中原地内までたくさんボラティアの方とスイセン球根植え作業を行いました。



作業終了後、学校関係者、部員とで学校に移動、午前九時から朝日みどり小学校花壇整備事業、花壇の土づくり作業を行いました。花壇に近づくにつれて春に植えた芝桜の緑が目を引き、次の春の楽しみをもらいました。今回の花壇整備は来春小学校で植栽する為の準備作業です。スコップ、クワ等それぞれ持参して除草、耕運、整地をしました。また耕運前に油かすを散布して、混ぜたので土の中で菌の餌となり今以上団粒化が進み、いい土になることでしょう。



それにしても、気持ちいい汗をかき、みんなといっぴくする時いつも思うのですが、朝日みどり小学校の校庭は立派だなあ、特に、中央の大きな松、自然のままの枝ぶりはいいですね。眺めているだけでも心癒される空間。樹木は季節の移り変わりとともに様々な顔を見せてくれました。一年間ありがとう、そんなことを思い作業を終了しました。

11月16日(日)「郷土料理を味わう会」を開催しました!

ふる里の味でまちづくり

開発交流部員 高根 鈴木 玲子

周囲山々が色鮮やかに紅葉した高根集落に於いて、第三回「郷土料理を味わう会」が開催されました。

たかねまちづくり協議会主催で開催交流部事業として、参加者、協議会スタッフ、料理協力員と総勢八十九名が高根区民会館に集い一緒に食事を楽しました。

今回のメニュー

は、前日から仕込みをしたという岩沢集落の協力員による朝日豚のラフテー、郷土料理として高根のぜんまいのくるみあえ、天蓋大根のなめこおろし、黒田の豆腐ナゲット、そうめん瓜のサラダ、関口の柿や漬物その他十品以上を色取り良くパックに盛り付けることができました。

会場の準備もスタッフ全員の協力により速やかに整えられ、季節の花が飾られた各テーブルに参加者とスタッフが席を交え、一緒に食べながらそれぞ



れの料理のいわれや作り方、味などについて和気あいあいとなごやかに話合いました。

今年度

は千ヶツトの販売を地域内に限定せず、外にも発信したところ反響があり、遠くは新潟

市内から訪れた方々もいました。そうした事からも、地域を越えた交流会ができて大変有意義で良かったと思います。

今後も、郷土料理を通して郷土の良さを再発見したり地元食材を大切に考

えて行く事で、より良いまちづくりにつながって行けたらと思っています。最後にご協力下さった方々大変ありがとうございました。



ボランティアの声

ボランティアで参加して 黒田 高橋 かづ子

1回2回とごちそうになり、今回はボランティアとして参加でした。当日会場はすでに白布に包まれた机がありその上にはきれいな花が生けられていました。

気持ち良くお迎えするための準備は、この会の成功に向けて一人ひとりが持っている思いのすべてを尽くしてくれていたと思いました。綿密に組まれたスケジュール、的確な指示に初めての黒田ボランティアは気持ち良く動くことができました。

遠方からお出での方もありました。「また来ます。」の一言は、帰られた皆様に見送るスタッフのどちらにも大きな喜びであったと思います。

この事業が続くならこれからも協力して行きたいとのスタッフ、一緒にやりましょうとの部員。なんとあったかくすばらしいことでしょう。及ばずながら同じ時間を共にできたことを黒田ボランティアは本当にうれしく思っています。

参加者の声

郷土の味に感謝 岩沢 大場 美子

11月16日高根区民会館において郷土料理を味わう会があり、夫や友達と参加した。今年で第3回を数え高根地区の他、遠く新潟市からの参加者もあり約100名近くになったようです。私達の住んでいる地域は、自然に恵まれ食材が豊富に有る事から平成24年度の1回目からどんな珍しい料理が食べられるか楽しみに参加しています。料理については、10品目と数の多さにびっくりしますが、母、子、孫へと引き継がれている伝統料理、新たな創作料理あり、色あい味の良さに感激し毎回完食しています。「大海」「やまもち」は伝統料理として毎回提供していただきたいし、地区には食べたことのない伝統料理があるかと思いますので今後期待し、これからも楽しみに参加したいと考えています。

たかねまちづくり協議会のスタッフの皆様、料理の創作に携わった方々に「感謝」「感謝」です。大変ありがとうございました。

集 落 行 事 紹 介

おめいこうさま

中原 鈴木 雅世志

晩秋の候、真っ黄色に色づいた銀杏の葉も散りはじめる十一月十三日。中原区の本門寺の「おめいこうさま」を迎える頃になるとほとんど毎年、強風が吹き荒れみぞれが降り始めます。

今年もまた約束したかのように「おめいこう荒れ。」七百年続く当寺のお祭りは子供達の守り神「鬼子母神様」の大祭で日蓮聖人の報恩講(御念命)でもあり「御念命講」と称されています。

檀徒・信者の人達に加え地元元高南保育園児四十名も雨風の中、引率の先生に守られ参拝され大いな賑わいを見せました。

恒例の供物捲きでは、紅白の千粒団子やお餅・お菓子等が宙を舞い堂内は騒然となりました。続くお齊では貝だくさんの豚汁が振る舞われ心身共に温まりました。午後からは地元出身の歌手、村上みつぐさんの歌謡も奉納披露され大いに盛りあがりました。

前後三日間、地域内外からの参詣者が続々中、「八十年振りに来ました。」と母親の背中に負がられお参りされた記憶を語られた老翁のお姿が印象的でありご縁の大切さを感じました。

晩秋の二日に拝げられたお祈りは地域皆様の繁栄と御健康に結ばれるものと住職の光林孝玄さんは話されました。



高根フロンティアクラブ

収穫祭

山里の味を堪能

会長 遠山 政好

先般十一月二十二日、高根フロンティアクラブ主催の「高根新そばと秋の味覚祭」を開催した。

この催しは毎年十月に収穫された新そばと棚田の「コシヒカリ」のおにぎり、漬物、なめこ汁をセツ

トでワンコイン五百円で食べていただき高根の味を多くのお客様に楽しんでもらい、「食堂「ROROR」」を知っていただく一日です。

当日は廃校になった旧高根小学校を会場とし、体育館



のなかでは高根の物産の販売、餅つき、そば打ち体験、森の鉛筆作り体験などを行いました。毎年好評なのが高根の杵つきの栃餅であつという間の完売でした。その他会場には天



蓋高原の大根、どんぐりイタドリ、くみ、白菜、岩魚の甘露煮、山芋など並び多くの

お客様が買って下さいました。

また、外のグラウンド東屋では鮎の塩焼き、



バームクーヘン、焼きたてのピザなども提供し、子供達や若い人達にも喜んでいただきました。

当日は少し肌寒い日でしたが三百人を超えるお客様に会場いただき百九十四人の方が食事をし、高根の味を堪能されました。

毎年様々な活動、イベントを通じ多くの方に高根に来ていただき交流人口を拡大し、地域の活性化と、活気ある集落づくりに今後も取り組みたいと願っております。



編 集 後 記

たかねまちづくり協議会地域振興部主催の「たかねまちづくり交流広場」を昨年引き続き実施いたしました。今年は、心配された天候にも恵まれ、昨年を上回る大勢の地域の皆様にご参加いただき、大変感謝しております。今回のたかねまちづくり通信の表紙は、交流広場の様子を写した写真を掲載いたしました。来年もまた実施する予定ですので、たくさんの方の地域の皆様のご参加をお願いいたします。

今後も協議会の活動や、地域の行事などを知っていただくとともに、皆様のご意見やご要望、情報等を頂きながら、愛されるまちづくり通信にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。(飯沼 聡)

■ 発行 たかねまちづくり協議会
 ■ 編集 地域振興部
 ■ 連絡先 TEL0254-72-6881 Fax0254-72-0328
 E-mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp
 ■ 事務局 〒958-0292 新潟県村上市岩沢5611番地
 (村上市朝日支所地域振興課内)